

施策番号	5
------	---

## 施策評価シート（評価対象年度：令和3年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
主要施策名	5	生涯学習
10年後のまちの姿	<p>○あらゆる年代の市民が芸術に触れ、学ぶ意欲を満ち、学んだことを生かしたり、発表したりすることができる場があるまちになっています。</p> <p>○こうした活動を通じて、生きがいや多世代とのつながりを持ち、豊かな人生を送る市民が増えています。</p>	
施策展開の基本的な考え方	<p>行政は、芸術に触れる機会や活動場所の確保、団体間の交流の促進、情報提供等の支援によって、市民が生涯学習活動に取り組みやすい環境づくりと自主的な活動の支援を行います。</p> <p>市民等は、芸術鑑賞や芸術活動を含めた多様な学習機会への積極的な参加や企画・運営への参画を通じて自ら学び、交流するよう努めます。</p>	
実現に向けた取組	<p>①市民が参加しやすい多様な学習機会の提供</p> <p>②市民による自主的な活動の育成・支援</p> <p>③活動拠点の整備</p>	
施策担当課・係	生涯学習課 社会教育係、文化・文化財係	
施策関係課・係		

### I 施策の実施状況

#### 1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	145,391	138,314	153,914	236,622	462,785
事務事業数	16	16	16	16	16
うち、事務事業評価対象	15	15	15	15	15

#### 2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
生涯学習に関するイベント・市民講座実施回数〔年間〕	回	131	137	139	149	79	104	136	141
生涯学習に関するイベント・市民講座参加者数〔年間〕	人	23,700	19,750	20,528	21,646	8,629	15,155	24,200	24,700
月1回以上定期的に活動している生涯学習活動団体数〔年間〕	団体	60	89	71	73	73	73	65	70
成果指標による現状分析	<p>・イベント・市民講座実施回数及び参加人数については、H29年度からR元年度までは概ね順調な進捗であったが、R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大きく減少した。R3年度は、依然続くコロナ禍により中止のイベントもあり、実施回数で中間目標値の約76%、参加者数で約63%という結果となりました。</p> <p>・生涯学習活動団体数については、年度により増減があるが、現状において既に中間目標値及び最終目標値を達成している。最終年度まで維持できるよう活動団体の育成と支援に努めます。</p>								

#### 3 施策の進捗状況

達成度	△ やや遅れている
評価の理由	<p>イベント・市民講座実施回数及び参加人数については、H29年度からR元年度までは概ね順調な進捗であったが、R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大きく減少、R3年度は、依然続く感染症拡大の中であっても徐々にイベントを実施することができたが、コロナ禍以前の水準に戻っていない状況であり、遅れた状態となっています。</p> <p>また、月1回以上定期的に活動している生涯学習活動団体数については、中間目標・最終目標ともに達成しており、順調であると考えています。</p>

#### 4 取組の状況と今後の方向性

##### ① 市民が参加しやすい多様な学習機会の提供

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽や美術等の芸術に触れる機会を確保するとともに、イベントや市民講座を継続して開催します。</li> <li>専門知識や特技を持った市民、学校、市内の企業やNPO等の団体と連携し、文化財、高齢福祉等各種分野の取組を巻き込んで、イベントや市民講座の魅力向上や対象年齢の拡大を図ります。</li> <li>イベントや市民講座は、できるだけボランティア等の地域の協力者を巻き込んで実施し、そのボランティアをきっかけに生涯学習活動に参加する人が増えるよう努めます。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習に関するイベント・市民講座実施回数、参加人数についてはH29年度からR元年度までは概ね順調に進捗し、回数においてはR元年度には最終目標値を達成していたが、R2年度に新型コロナウイルス感染症拡大により、その数値は大きく減少し、実施回数で最終目標値の約56%、参加人数で約35%と大きく後退した。R3年度もその影響を受けて中止となるイベントもあり、コロナ禍以前の水準までには回復できず、実施回数で約74%、参加者数で約61%の結果となっています。</li> <li>昆虫の家、図書館、美術館では、ボランティア等の協力者を巻き込みイベント等(図書館は読み聞かせ、昆虫の家、美術館はイベント時の応援や施設環境整備のボランティア)を実施、中央公民館では、R3年度より公民館の活動団体と連携したイベントを開催しました。</li> </ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の影響を受け下がった数値の回復を最優先としながら、計画最終年度の参加人数の目標を達成・維持するために市民のニーズをよりの確に捕らえ、魅力あるイベントや市民講座を計画し開催しよう努めます。</li> <li>R3年度より運用を開始した市の人材バンクと近隣市町村と連携し、その人材バンクも合わせて活用することで専門知識や特技を持った人材を活用し、イベントや市民講座の魅力向上や対象年齢の拡大を図ります。</li> <li>ボランティアについては、昆虫の家、図書館についてはボランティアの協力を得た中でイベントを実施しており順調といえるが、今後は、公民館事業でのイベントや講座での連携へと広がっていきます。</li> </ul>

##### ② 市民による自主的な活動の育成・支援

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの知識や特技を生かして市民講座を開きたい人、市民講座後も自主的に学習を継続したい人、地域で作品展を開きたい人等“活動したい人”を募って活動場所の紹介、仲間集めの助言、広報の手伝い等の支援を行います。</li> <li>活動の目標ともなる成果発表の場や他団体とノウハウを共有する機会となる場を設ける等生涯学習団体が活動を続けやすい環境を整備します。</li> <li>市民による様々な活動や講師等の情報をデータベース化し、市民が気になる活動を見つけ、参加しやすい環境を整えるとともに、市民の参加や活動団体同士の交流を促すコーディネート者を配置して、ある時は参加者が主催者や講師となり、またある時は講師が運営を支える裏方となるような循環型の生涯学習社会の実現を目指します。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育認定団体などに対して、文月コンサートや生涯学習フェスティバルなどを開催することで、成果発表の場、他の団体との連携・つながりの場の提供に加え、社会教育委員にも参画してもらい、団体相互の情報交換の場を提供し、団体活動の活性化と継続支援、環境整備を行うなど取り組んできました。</li> <li>R3年度より循環型生涯学習社会の実現に向け、講師等のデータベースを活用できるよう人材バンク制度を設立し、さらに新潟広域都市圏の連携事業で近隣市町村間での連携を進めました。</li> </ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナにより、文月コンサートや生涯学習フェスティバルなどの活動成果の発表の機会を設けることが一時的に難しくなっている。未だコロナ禍以前の水準に戻らないが、今後も継続して団体の活動成果の発表の機会と場を提供するなど活動の活性化の支援に努めます。</li> <li>今後も継続して社会教育委員にも参画してもらい各利用団体の代表が集まる機会を設け、情報交換などを行うことで、各団体間の連携、つながりの場により団体活動の活性化支援を行います。</li> <li>人材バンクについては、制度を開始したばかりで、まだ利用件数は少ない状況であるため、今後は制度の周知に努め、活用、利用件数の増加を目指します。</li> </ul>

##### ③ 活動拠点の整備

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習をはじめとする市民活動の拠点到にふさわしい機能を確保するため、施設の老朽化対策の中で施設内容を充実させる建替えや改築、相乗効果を生み出す施設の集約化も考慮しながら適正配置等を検討します。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した中央公民館、図書館の施設整備については、庁内プロジェクトチームにおいて検討を行うとともに、社会教育委員、図書館協議会委員、小・中・高・大学教諭等、公民館施設利用者、読み聞かせボランティアなどで構成される市民等参画した検討委員会を立ち上げ、検討委員会を3回、市民参加型ワークショップを3回、先進地視察を1回行い、両施設を併せた複合施設の整備についての基本構想を策定中です。</li> </ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、老朽化した中央公民館と図書館の複合施設整備に向け基本構想を策定中であり、併せて、その整備手法については、PPP/PFI事業(官民連携事業)の活用も含め検討します。</li> <li>産業文化会館については、大規模改修を計画的に進めます。老朽化及び耐用年数を超える部分の改修について、市民及び利用者に対し説明が必要です。</li> <li>公民館施設等は、老朽化が進んでいる施設が多いので、維持修繕を計画的に行います。</li> </ul>

5 施策の今後の方針

施策方針	○ 維持
施策方針に関する説明	R2、3年度の新型コロナウイルス感染症拡大による落ち込みを除けば、ほとんどの事業が、その達成度から判断するとおおむね順調に進んでいたと考えられることから、今後は最終目標の達成に向け継続して事業に取り組みます。市民が参加しやすい多様な学習機会の提供を軸とし、重点を置きながら市民による自主的な活動の育成・支援も継続し、あわせて新たな活動拠点として生涯学習複合施設の整備についても検討を続けます。

## II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R3 事業費	R4		達成度	施策目標 に対する 貢献	今後の 方向性	主な事業	担当課	
			うち 一般財源	当初予算額						うち 一般財源
150110	文化活動促進事業	37	0	73	29	×	○	③		生涯学習課
150111	陶芸研修所管理事業	2,837	2,328	3,335	2,638	×	○	③		生涯学習課
150211	公民館文化振興事業	3,822	2,973	1,731	1,596	◎	○	③	○	生涯学習課
150112	産業文化会館事業	338,512	45,066	137,366	34,518	◎	○	①	○	生涯学習課
150113	鉱物・陶芸館運営事業	11,330	10,000	6,814	5,431	○	○	③		生涯学習課
150114	胎内自然天文館運営事業	11,932	10,318	20,517	10,167	○	○	③		生涯学習課
150115	昆虫の森運営事業	25,432	8,781	10,989	3,628	○	○	②		生涯学習課
150116	市民講座学級事業	559	482	1,043	843	×	○	③		生涯学習課
150117	図書館管理事業	22,908	22,787	22,547	22,444	○	○	③		生涯学習課
150118	環境改善センター管理運営事業	13,445	8,628	5,897	5,533	◎	○	③		生涯学習課
150119	一般経費中央公民館	9,231	8,736	8,546	8,129	△	○	③		生涯学習課
150120	一般経費黒川地区公民館	11,472	11,304	8,988	8,845	○	○	③		生涯学習課
150121	乙地区交流施設管理運営事業	5,724	5,651	5,244	5,166	○	○	③		生涯学習課
150210	社会教育振興事業	785	785	928	928	○	○	③		生涯学習課
150212	生涯学習フェスティバル事業	368	368	471	471	×	○	③		生涯学習課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150110		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	文化活動促進事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費	
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供	予算科目	項	06	社会教育費
				小	10	文化活動促進事業		目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意	関連例規		関連計画	胎内市教育振興基本計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	冬フェスタin中央公民館や文月コンサートなどの事業を通じて市民に文化活動の場を提供するとともに、参加者同士の交流の場とする。
主な実施内容	・冬フェスタin中央公民館の開催（12月） ※文月コンサートについては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	65	69	62	44	37	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	33	35	32	40	37	
一般財源	32	34	30	4	0	
人件費（千円）	401	412	420	278	233	
正（h）※事業費	178	180	180	119	88	
会計年度任用（h）※事業費	88	92	92	58	74	
総事業費+人件費	466	481	482	322	270	
財源「その他」内訳	学級講座等参加費 37千円					
事業費の主な支出内容	消耗品費 37千円					
単位コスト	算出方法	参加者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/参加者				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		684円	901円	920円	2,104円	1,820円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	①公民館まるごとクリスマス講座数 ②文月コンサート参加団体数	①公民館まるごとクリスマス講座数 ②文月コンサート参加団体数	①クリスマス開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①クリスマス開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①クリスマス開設講座数 ②文月コンサート参加団体数
	目標	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体
	実績	①9講座 ②8団体	①9講座 ②8団体	①9講座 ②10団体	①8講座 ②0団体	①8講座 ②0団体
成果指標	名称	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数
	目標	500人	500人	500人	500人	500人
	実績	633人	495人	489人	134人	128人
	目標比	126.6%	99.0%	97.8%	26.8%	25.6%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	○	○	×	×
評価の理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、冬フェスタin中央公民館については無料の講座を開催しなかったこと、また文月コンサートは中止したことによって参加者数が減った。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

冬フェスタin中央公民館については新型コロナウイルスの感染状況を見ながら無料の講座を再開し参加者の増加につなげる。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	冬フェスタin中央公民館において、教員のボランティアグループに各講座の指導の補助に入ってもらっている。

7 事業の課題

文月コンサートにおいて、参加してくれる音楽団体が固定化している。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
・文月コンサートについては、出演団体が固定化しつつあるので、音楽団体に出演依頼を引き続き行い、参加者の増加につなげる。 ・音楽団体以外の団体が活動の成果を発表、披露する機会を作る。 また得た知識を家庭や地域へ持ち帰り還元させる意識作りに取り組む。 ・子どもたちが今、どのようなことに興味を持ち、関心を示しているのかを把握し開催する講座のリニューアルにつなげる。					

9 二次評価委員会所見

		今後の方向性			
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150111		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	陶芸研修所管理事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中		01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
			小		11	陶芸研修所管理事業		目	07	陶芸研修所管理費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市陶芸研修所条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	陶芸を通じて、芸術活動に親しんでもらうことを目的に陶芸講座を開催し、参加者同士の交流や親睦をはかる。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>陶芸講座の実施（年3回 春・夏休み（親子）・秋）</li> <li>陶芸作品展の開催</li> <li>陶芸研修所維持管理</li> </ul>
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	2,005	2,012	2,373	1,801	2,837	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	681	666	764	194	509	
一般財源	1,324	1,346	1,609	1,607	2,328	
人件費（千円）	276	278	285	284	284	
正（h）※事業費	150	150	150	150	150	
会計年度任用（h）※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	2,281	2,290	2,658	2,085	3,121	
財源「その他」内訳	材料費 343千円 参加費 166千円					
事業費の主な支出内容	陶芸講座指導委託料 1,721千円 消耗品費 216千円 燃料費 215千円 光熱水費 165千円					
単位コスト	算出方法	参加者一人あたり収支（事業収入－総事業費（業務委託料除く））／参加者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		622.9円	1,247円	708.8円	△15,350円	△7,141円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	陶芸講座回数	陶芸講座回数	陶芸講座回数	陶芸講座回数	陶芸講座回数
	目標	4回	4回	5回	5回	5回
	実績	4回	4回	5回	3回	5回
成果指標	名称	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数
	目標	180人	180人	180人	180人	180人
	実績	134人	121人	158人	40人	84人
	目標比	74.4%	67.2%	87.7%	22.2%	46.6%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	×	×
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	年3回の陶芸講座は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、開催することができたが、参加人数を半数としたことにより、数値として目標比の50%に満たなかったため。ただ、参加者の満足度は高く、リピート参加率が非常に高いことは特筆すべき点である。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> <li>陶芸研修所敷地を参加者と協働で草刈りを実施</li> <li>陶芸作品展期間外で交流や親睦をはかる座談会を開催</li> <li>R1から学校で実施する陶芸学習授業をやめ、親子を対象とした陶芸教室を開始した。（陶芸学習事業を統合）</li> <li>受益者負担の見直しを実施（参加費 H29まで0円、H30から1,000円、R2から2,000円）</li> </ul>
---

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	陶芸研修所及び敷地内の清掃、草刈り補助。特に清掃に関しては参加者の方の意識も高く、自主的に率先して行ってくれている。

7 事業の課題

参加者の大半がリピーターであるため、新規の参加者の増加を図るための情報発信の強化が必要である。
---

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	②	②	③	③	③
参加者の大半をリピーターが占めるため、新規の方の紹介等周知をお願いし、陶芸の魅力を広めていく。講座参加者による作品展と講師を招いた交流の場を企画し、参加者の創作意欲の増進を図る。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
縮小	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150211		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	公民館文化振興事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中	02	市民による自主的な活動の育成・支援	項	06	社会教育費
				小	11	公民館文化振興事業	目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			任意		関連例規	関連計画 胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が文化・芸術活動を発表する機会や親しむ機会を提供することにより、文化・芸術活動の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術展覧会の開催</li> <li>・ジュニア美術展覧会の開催</li> <li>・県展開催</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	1,787	1,645	1,648	440	3,822
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	168	150	129	0	849
一般財源	1,619	1,495	1,519	440	2,973
人件費（千円）	902	909	1,253	1,175	1,327
正（h）※事業費	490	490	660	620	700
※任用（h）※事業費	40	40	50	10	0
総事業費+人件費	2,689	2,554	2,901	1,615	5,149
財源「その他」内訳	美術展覧会出品料135千円、県展入場料649千円、県展前売券販売手数料64千円				
事業費の主な支出内容	報償費793千円、需用費495千円、役員費74千円、委託料1,199千円、使用料及び賃借料81千円、負担金及び交付金80千円				
単位コスト	算出方法				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数
	目標	4日間	4日間	4日間	4日間	4日間
	実績	4日間	4日間	4日間	0日間	9日間
成果指標	名称	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数（県展+市展）
	目標	2,100人	2,100人	2,100人	2,100人	2,100人
	実績	2,381人	2,872人	2,708人	0人	3,770人（県1,945+市1,825）
	目標比	113.4%	136.8%	129.0%	0.0%	179.5%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	×	◎
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 感染症対策を行い、第75回県美術展覧会及び第15回胎内市美術展覧会を実施した。コロナワクチン集団接種による会場変更など、想定外の事態に対応しつつ、事業を実施することができた。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H29]	開催期間中に周辺道路にのぼり旗を設置し、来場者にPRした。
[H30-31]	日本画部門の出品者数を増やすため、初心者日本画教室を開催した。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	美術展覧会開催期間中、受付等業務をボランティアで実施。

7 事業の課題

運営委員の高齢化が課題。運営委員の継続が難しいとの話も聞いており、市として後継者を探すなどの対応が必要。また、出品者も同様に高齢化が進んでおり、出品数が減少傾向である。周知方法を再検討するなど、新しい出品者が増えるよう、広報の方法を工夫する必要がある。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
・各部門の公民館利用団体の代表及び近隣高校等へ市展開催の周知を行い出品者の増加を目指す。					

9 二次評価委員会所見

県展の開催について、定住自立圏での開催等、より良い開催方法を検討すること。

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性						

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150112		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者				
事務事業名	産業文化会館事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費	
主要施策	5	生涯学習	中		01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		予算科目	項	06	社会教育費
			小		12	産業文化会館事業			目	05	産業文化会館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市産業文化会館条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生涯学習の推進及び文化振興と芸術意識の高揚を図り、心を豊かにすることを目的とし、自主事業を実施する。</li> </ul>
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>会館自主事業の実施</li> <li>会館維持管理</li> <li>長寿命化計画に基づく施設改修工事</li> </ul>
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	60,513	48,731	63,686	115,404	338,512	
国・県支出金	0	0	0	40,916	0	
地方債	13,600	7,100	23,500	37,500	278,500	
その他	6,179	6,322	6,526	3,149	14,946	
一般財源	40,734	35,309	33,660	33,839	45,066	
人件費（千円）	1,804	1,819	1,861	1,857	1,857	
正(h) ※事業費	980	980	980	980	980	
※事業費	0	0	0	0	0	
※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	62,317	50,550	65,547	117,261	340,369	
財源「その他」内訳	使用料2,148千円 管理費負担金(商工会)1,245千円					
事業費の主な支出内容	施設整備工事 275,314千円 施設改修工事設計委託料 28,490千円 施設管理業務委託 15,774千円 光熱水費 6,854千円 舞台各種設備保守点検業務委託 4,048千円 空調衛生設備保守点検業務委託 3,630千円					
単位コスト	算出方法	入場者1人あたり運営コスト（総事業費※＋人件費）／入場者数 ※工事費・設計費を除く				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		468円	550円	554円	1,243円	1,125円

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	310日	310日	310日	310日	310日
	実績	308日	308日	284日	283日	308日
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	70,000人	70,000人	70,000人	70,000人	20,000人
	実績	80,286人	71,245人	71,108人	27,660人	32,483人
	目標比	114.7%	101.8%	101.6%	39.5%	162.4%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	△	◎
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 来場者数については、コロナウイルス感染症による休館や改修工事による騒音や制限等があったが、目標を達成することができた。自主事業に関しては、改修工事による期間の制限や、コロナウイルス感染症対策による中止が重なり集客に繋がらなかった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[R30]	ホール系統の空調用冷却塔の取替工事・冷温水発生機改修工事を行った。
[R1]	舞台照明頭光操作卓更新工事を行った。
[R2]	空調設備（GHP）更新工事・中央監視装置更新工事・トイレ改修工事を行った。
[R3]	外壁改修工事・屋上防水工事・直営電源工事を行った。特定天井等改修工事に関して実施設計及び関係工事の発注を行った。令和5年1月に多目的ホール利用開始予定。
[R3 実施事業]	ファミリーダンス（中止）
	松竹大歌舞伎ポスター展

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	自主事業の協働開催に向けた取り組みを検討する。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化計画をもとに、令和3年度には外壁や屋上防水の更新工事、令和3～令和4年度にかけて建築基準法の改正に伴うホール天井の耐震化と、老朽化の進んだ舞台・音響・照明設備などの大規模改修を予定しているため、令和4年内については多目的ホールの使用は不可であり、他の部屋についても駐車場の制限や工事騒音が発生することが懸念される。</li> </ul>
---

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	①	①	①
<ul style="list-style-type: none"> <li>築26年が経過し建物および設備の老朽化が著しい。長寿命化計画をもとに危険性の高い設備から計画的に改修を進めている。</li> <li>来年度の自主事業については、ホール改修後のリニューアル事業を企画していく。企画立案については産業文化会館アドバイザー委員と協議し、集客率の高いイベント内容を検討する。</li> <li>今後の管理運営に関しては、既存の館の受付管理業務、清掃業務などの指定管理制度と併せ直営又は委託を精査する。</li> </ul>					

9 二次評価委員会所見

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150113		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	鉱物・陶芸館運営事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費	
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供	予算科目	項	06	社会教育費
				小	13	鉱物・陶芸館運営事業		目	09	鉱物・陶芸館費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意	関連例規	胎内市粘土・鉱物体験資料館及び陶芸体験館条例 関連計画 胎内リゾート活性化マスタープラン					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	収集した日本と世界の鉱物、粘土とそれに関連した資料の展示と解説のほか、鉱物・粘土の学習指導や天然石を素材にしたアクセサリー作りと陶芸の体験教室を実施する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の運営管理</li> <li>体験教室及び出張教室の実施</li> </ul>
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	7,627	7,990	6,529	6,389	11,330
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	1,239	1,338	1,197	1,015	1,330
一般財源	6,388	6,652	5,332	5,374	10,000
人件費（千円）	147	148	152	152	152
正(h) ※事業費	80	80	80	80	80
会計年度任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	7,774	8,138	6,681	6,541	11,482
財源「その他」内訳	入館料 340千円、アクセサリー体験 282千円、陶芸体験 209千円、売店収入 183千円				
事業費の主な支出内容	施設管理業務委託 5,027千円 工事請負費 4,070千円 光熱水費 724千円 修繕費 517千円 施設管理保守点検委託 310千円 消耗品費 259千円 売店材料 122千円 通信運搬費 67千円				
単位コスト	算出方法	①利用者一人当たりにかかるコスト（総事業費＋人件費／利用者数） ②利用者一人当たりの収支（事業収入－（総事業費＋人件費））／利用者数			
	実績	平成29年度 ①2,443.9円 ②-2,054.4円	平成30年度 ①2,800.4円 ②-2,340円	令和元年度 ①2,569.6円 ②-2,109.2円	令和2年度 ①2,775.1円 ②-2,344.5円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	207日	209日	105日	105日
	実績	203日	203日	104日	83日
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	4,400人	4,600人	3,000人	3,000人
	実績	3,181人	2,906人	2,600人	2,357人
	目標比	72.3%	63.2%	86.7%	78.6%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	○	△	○
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	目標値3,000人に対し実績は2,920人で、97.3%であり、目標値を概ね達成している。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> <li>常設展示を一部新設</li> <li>企画展示を実施</li> <li>開館日数減により施設管理委託料を削減（R1）</li> <li>4月～11月に日を決めて、天然石・アクセサリー作り体験及び化石・鉱物解説案内を実施した。</li> <li>JAF会員に対する優待割引を開始（R3）</li> </ul>
--

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	鉱物の観察、採集活動等にかかわるボランティアがいることは望ましいと思われるが、現在のところ導入の目途は立っていない。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度より開館日を土日・祝日及び夏休み期間のみに変更した結果、効率は改善されたが学校との連携や平日の団体利用の希望などを受け入れにくくなっており、柔軟な対応が可能になるよう体制を考える必要がある（スタッフのシフト調整などである程度対応している）。</li> <li>現在の専門員はすでに高齢であり、若い専門員を必要としている。</li> </ul>
---

8 課題解決に向けた今後の取組

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
今後の方向性	⑤	⑤	③	③	③
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況に応じた開館日に見直して効率的な運営を行うことで、経費の削減を図っている。令和元年度より開館日を土日・祝日及び夏休み期間のみに変更した。</li> <li>様々な改善に取り組みつつあったものの、魅力的な展示への更新、積極的なPRなどを必要としている。鉱物採集ツアーの人気から一般市民の鉱物への関心、ニーズはあると思われる。</li> <li>令和元年度からの開館日数減により、算出指標の目標値を105日、成果指標の目標値を3,000人とした。</li> <li>令和3年度より、日本自動車連盟（JAF）会員向けに入館料の優待割引を開始した。施設のPRのほか、有料の体験メニューへのハードルが下がるなどの効果が期待できる。</li> </ul>					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性						
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性						

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150114		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	胎内自然天文館運営事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費	
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供	予算科目	項	06	社会教育費
				小	14	胎内自然天文館運営事業		目	10	文化教育交流促進施設費（胎内自然天文館）
事務区分	法定受託事務	自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け	任意		関連例規	胎内市文化教育交流促進施設条例	関連計画	胎内市教育振興基本計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	農山村の自然・天体知識及び科学教育の啓発のため、館内の展示案内を行うほか、定期的に天体観察等の教育普及事業を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然や天文について紹介するとともに解説や学習指導・体験活動により自然保護に対する理解を図る。</li> <li>望遠鏡及び双眼鏡を活用し、昼間・夜間の観望会や出前教室を行う。</li> <li>施設管理をする。</li> </ul>
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	11,326	11,104	11,753	12,989	11,932
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	1,248	1,838	1,630	1,025	1,614
一般財源	10,078	9,266	10,123	11,964	10,318
人件費（千円）	1,178	1,188	1,215	1,213	1,213
正(h) ※事業費	640	640	640	640	640
会計年度 ※事業任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	12,504	12,292	12,968	14,202	13,145
財源「その他」内訳	使用料 882千円 売店収入 792千円				
事業費の主な支出内容	施設管理業務委託料 7,360千円 施設管理保守点検委託 1,811千円 光熱水費899千円 売店材料 403千円 消耗品費 278千円 修繕費398千円 講師等謝礼130千円 保険料135千円 通信運搬費 179千円				
単位コスト	算出方法 (総事業費＋人件費) / 入場者数				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	2,109円	1,573円	1,899円	3,137円	1,995円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	営業日数	営業日数	開館日数	開館日数	
	目標	200日	200日	200日	200日	
	実績	203日	204日	207日	178日	200日
成果指標	名称	入場者数	入場者数	利用者数	利用者数	
	目標	10,000人	10,000人	8,000人	8,000人	
	実績	6,009人	7,814人	6,816人	4,282人	6,589人
	目標比	60.0%	78.0%	85.2%	53.5%	82.4%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	○	○	△	○
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない ・コロナ禍ではあるものの昨年度と比較すると入館者は増加した。 ・お盆の特別観望会がコロナウイルス感染症対策のため中止となり、夏の一大イベントである「胎内星まつり」が無観客開催であったため、8月の利用者が大きく落ち込んだ。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外イベントは、天候不順による当日キャンセルや中止になるケースが多いため、天候に左右されない屋内イベントや盛りでも開催可能な胎内平自然観察会を予定した定員で開催でき、普段天文館に来館しない層からの参加につながった。</li> <li>SNSを使った投稿や新潟県立自然科学館とのホームページ相互リンク、インターネットライブ配信により天文館を広く周知することができた。</li> </ul>
【R3 実施事業】 ・定期・特別観望会の実施 ・望遠鏡づくり（年2回） ・星空のヨガ（年2回） ・大人の作業室（星空写真教室） ・胎内平自然観察会（年6回） ・街角観望会 ・コミュニティ放送FMしばたの天文系番組を担当

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	観望会の解説指導員など専門スタッフの育成に向けた取り組み。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>天文館は、天候に恵まれない状況でも展示物及び説明映像のみの見学が可能だが、同館の主な用途は天体観測であることから、入館者数はどうしても天候に左右される。</li> <li>天文館の立地条件や公共交通機関がないことから、交通手段を持たない層の誘客が見込めない。</li> </ul>
---

8 課題解決に向けた今後の取組

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
今後の方向性	③	③	③	③	③
<ul style="list-style-type: none"> <li>曇天や小雨でも開催可能な自然や生物に焦点をあてた自然観測会のプログラムを企画し、天文館のPRと市内外からの新しい層の集客を図る。</li> <li>コミュニティ放送FMしばたの天文系新番組を担当し、宇宙や天体の魅力を伝え、天文館やイベントの周知・誘客を図る。</li> <li>悪天候で観望会ができない場合のことを考えて、あらかじめ好条件時にカメラやビデオで録画しておき、来館者に視聴してもらう。また、新型コロナウイルスの影響で開館できない場合は、YouTubeにより配信を行う。</li> <li>ホールの常設展示については、季節に合わせた装飾や雰囲気作り、天文情報等のパネルの展示など定期的に更新し、飽きさせない工夫をする。</li> </ul>					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	④	⑤
	休廃止	⑦	④	⑤
	削減	⑧	④	⑤
	縮小	⑧	④	⑤
	維持	⑧	④	⑤
	拡大	⑧	④	⑤
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150115		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	昆虫の森運営事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中		01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
			小		15	昆虫の森運営事業		目	11	昆虫の森費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規		胎内市昆虫の家条例	関連計画	胎内リゾート活性化マスタープラン	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>昆虫に関する資料の展示と解説のほか、昆虫に関する学習指導や企画展、体験教室等を行う。</li> </ul>
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>常設展の開催</li> <li>企画展の開催</li> <li>ふれあい体験の実施</li> <li>昆虫教室の実施</li> <li>市内中学校への出張教室、他団体との共催による事業等を実施</li> </ul>
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	10,179	10,995	10,159	9,760	25,432
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	9,746
その他	6,100	6,320	6,447	7,176	6,905
一般財源	4,079	4,675	3,712	2,584	8,781
人件費（千円）	3,564	3,593	3,676	3,669	3,669
正(h) ※事業費	1,936	1,936	1,936	1,936	1,936
委任(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	13,743	14,588	13,835	13,429	29,101
財源「その他」内訳	使用料 4,839千円 売店収入 1,993千円 昆虫教室参加費等 2千円 行政財産目的外使用料 71千円				
事業費の主な支出内容	工事請負費 14,550千円 施設管理委託料 5,565千円 光熱水費 1,709千円 売店材料 1,284千円 消耗品費 646千円 修繕費 499千円 施設管理保守点検委託 409千円 使用料・賃借料 233千円 燃料費 99千円 飼料費 96千円 手数料 96千円 保険料 90千円 印刷製本費 11千円				
単位コスト	算出方法	①利用者一人当たりのコスト（総事業費＋人件費／利用者数） ②利用者一人当たりの収支（（事業収入－（総事業費＋人件費））／利用者数）			
	実績	平成29年度 ①759.82円 ②-422.6円	平成30年度 ①806.64円 ②-457.2円	令和元年度 ①770.49円 ②-411.5円	令和2年度 ①652.24円 ②-303.7円

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	225日	226日	226日	226日	226日
	実績	228日	225日	216日	186日	213日
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	24,000人	24,000人	20,000人	20,000人	20,000人
	実績	18,087人	18,085人	17,956人	20,589人	19,566人
	目標比	75.4%	75.4%	89.8%	102.9%	97.8%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	○	◎	○
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	成果指標の達成状況による。 令和元年度から目標値を20,000人とし、令和3年度の実績は19,566人で、目標の97.8%であった。コロナ禍によるGWやお盆期間の分散利用の呼びかけ、9月前半の休館期間があったにもかかわらず前年から高い水準を維持している。JAF会員対象の優待割引を実施した効果があるとも考えられるが、コロナ禍の特殊な状況によるものだった可能性もあり、断定しにくい。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> <li>展示の改善、新張の生態展示を1種行った（ミスカマギリ）。</li> <li>学校との連携、出張授業等について前年までの回数維持（ただしR2年度はすべて中止）（以上、いずれもコスト増加は無し）</li> <li>虫とりチャンピオン大会スペシャルin奥館内を実施（H30実施費約500千円）</li> <li>日本自動車連盟（JAF）との契約で会員対象の入館料割引を実施。PRを強化</li> </ul>
※R2～3 実施事業 ※コロナ禍でも実施できた事業 ・ギフチョウ羽化体験（R3年度のみ） ・チョウに餌をあげてください ・春のミニ企画展（R3年度のみ）、 ・夏の特別展「巨大カブト・クワガタ大集合」 ・観察会「マツムシの声を聴く会」（R2年度のみ）

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	施設ボランティアなどの導入が考えられるが、作業内容など検討すべき課題が多い。

7 事業の課題

辺地債により旧館空調はR3年度に更新工事が完了したが、全体的に施設、設備の老朽化は進んでおり、バリアフリー化、展示のリニューアルなども検討課題と言える  
 様々な教育関連事業への連携、協力依頼は増える傾向にあるが、人員削減・管理委託の影響もあり展示内容は大きな変更がしにくい状態にある。PRや新しい企画などで利用者増を図る必要がある。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	②	③	③	②	②
人気施設であり、市のPR、観光、教育いづれにも有用な施設と言えるが、様々な教育関連事業への協力依頼は増える傾向にある一方で、人員削減・管理委託の影響もあり展示内容は大きな変更がしにくい状態にある。PRや新しい企画などで利用者増を図る必要がある。また施設・設備の老朽化も大きな課題で、可能であればバリアフリー化、展示のリニューアルなどは今後の検討課題と言える。これまでの成果指標の目標値は、現状を考慮すると大きすぎると思われ、20,000人とするのが妥当と思われたので、令和元年度目標より変更した。					

9 二次評価委員会所見

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150116		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	市民講座学級事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中		01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
			小		16	市民講座学級事業		目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規		関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が新しい知識と教養を深め、また交流をはかることを目的として高齢者大学を通年開催するほか、市民講座など随時主催事業を開催し、市民にとって興味・関心のある講座を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者大学の開催</li> <li>・市民講座等の開催</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	347	414	339	351	559	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	25	10	36	55	77	
一般財源	322	404	303	296	482	
人件費（千円）	1,266	1,290	1,319	847	1,119	
正(h) ※事業費	672	680	680	432	568	
会計年度任用(h) ※事業費	35	33	33	32	47	
総事業費+人件費	1,613	1,704	1,658	1,198	1,678	
財源「その他」内訳	学級講座等参加費 77千円					
事業費の主な支出内容	講師謝礼 145千円 消耗品費 120千円 通信運搬費 59千円					
単位コスト	算出方法	高齢者大学学生1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/延べ参加者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		1,222円	1,192円	1,716円	2,968円	2,879円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数
	目標	4地区	4地区	4地区	4地区	4地区
	実績	4地区	4地区	4地区	4地区	4地区
成果指標	名称	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数
	目標	1,450人	1,450人	1,450人	1,450人	1,450人
	実績	1,299人	1,421人	945人	385人	556人
	目標比	89.5%	98.0%	65.1%	26.5%	38.3%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	△	×	×
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 高齢者大学においては、コロナ禍により学生の参加控えや学生数の減少により参加者が減少している。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

高齢者を対象とした事業だけではなく、そば打ち教室や若年層をターゲットにしたアロマ教室、子どもたちを対象としたワークショップなどを開催し、普段あまり公民館事業に参加することのない年齢層の利用者の増加に努めている。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的状況	子どもたちを対象としたワークショップにおいて、普段公民館で活動している学習者に講師をお願いしている。学習者自身にとっても学習成果の還元の良い機会となっている。

7 事業の課題

若年層の公民館事業への参加を促すための事業、イベントの開催が必要。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
・高齢者に偏った事業のみではなく、公民館利用者層の幅を広げるため、若年層をターゲットにした事業を企画する。					

9 二次評価委員会所見

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150117		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	図書館管理事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供	項	06	社会教育費
				小	17	図書館管理事業	目	06	図書館費
事務区分	法定受託事務		根拠法令	図書館法、図書館法施行令、図書館法施行規則					
	法令による義務付け		任意	関連例規	胎内市図書館条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画、胎内市子ども読書推進計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	図書館を運営し市民に図書資料や情報等の提供と学習の場を提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料収集、保存</li> <li>資料貸出（一人5冊まで、2週間）</li> <li>土、日曜日の開館</li> <li>夜間開館時間の延長（火～金、19時まで開館）</li> <li>リクエスト制度</li> <li>レファレンス</li> <li>相互貸借（他館への貸出、他館からの借受）</li> <li>団体貸出（小中学校等への貸出）</li> <li>市内小中学校図書室の環境整備、読書指導等（担当の司書が巡回）</li> <li>施設の維持管理</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	19,470	21,211	20,264	24,610	22,908
国・県支出金	5,000	5,000	5,000	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	129	123	117	113	121
一般財源	14,341	16,088	15,147	24,497	22,787
人件費（千円）	6,620	6,990	6,485	7,137	7,108
正(h) ※事業費	3,596	3,766	3,415	3,766	3,751
※事業費任用(h) ○	7,329	7,203	7,008	7,739	7,673
総事業費+人件費	26,090	28,201	26,749	31,747	30,016
財源「その他」内訳	図書館使用料 23千円 敷地使用料 58千円 コピー代 21千円 雇用保険料 19千円				
事業費の主な支出内容	会計年度任用職員給料 7,245千円 図書 3,770千円 光熱水費 2,429千円 図書館情報システム賃借料 2,178千円 図書館情報システム保守点検委託料 918千円 消耗品費 905千円 清掃業務委託料 493千円 施設管理委託料 463千円 施設整備工事 1,248千円 備品購入費 83千円				
単位コスト	算出方法				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実績					

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	年度末蔵書冊数	年度末蔵書冊数	年度末蔵書冊数	年度末蔵書冊数	
	目標	75,000冊	75,000冊	75,000冊	75,000冊	
	実績	84,494冊	85,929冊	86,973冊	88,886冊	88,876冊
成果指標	名称	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数	
	目標	75,000冊	80,000冊	70,000冊	70,000冊	
	実績	65,185冊	64,903冊	62,177冊	54,447冊	56,134冊
	目標比	86.9%	81.12%	88.73%	77.78%	80.19%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	△	○
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	新型コロナウイルスの流行状況による影響はまだ残っていると考えられるが、来館を控えていたとみられる利用者が徐々に戻ってきている印象はある。 また、新規の利用登録者は新型コロナウイルス流行直前の数字に近いものになっており、こちらについてはプラスととらえている。 〈新規登録者〉（単位：人） H29:250 H30:263 R1:244 R2:187 R3:223				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

子ども読書推進計画に基づき事業を実施しているほか、胎内市・新発田市・聖籠町定住自立圏の形成に係る協定による2市1町の図書館の相互利用が可能となった。また、30年度からは広域連携協定に基づき、新潟市の図書館とも相互利用が可能になった。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	読み聞かせボランティアの協力のもと毎月2回、館内での子どもに対する読み聞かせを行っている。

7 事業の課題

①これまでの実績値から、貸出冊数自体は依然減少を続けている傾向に変わりはないと考えている。まずはコロナ禍以前の水準まで戻せるかが課題。
②施設は、耐震補強を行ったものの施設の老朽化自体は進んでおり、また元々図書館として造られた建物ではないところから利便性・機能性も悪く、蔵書・書架の増加に伴い、全体的に手狭となっている。

8 課題解決に向けた今後の取組

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
今後の方向性	③	③	③	③	③
①これまでどおり、貸出利用の少ない年齢層（中学生から20代）への働きかけを行うと同時に、これ以外の年齢層でも何らかの働きかけを行い、利用者数の底上げをしていく必要があると考えている。					
②現在、老朽化した中央公民館と図書館の複合施設整備に向け基本構想を策定中であり、併せて、その整備手法についてはPPP/PFI事業（官民連携事業）の活用も含め検討中である。					

9 二次評価委員会所見

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性						

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150118		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	環境改善センター管理運営事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	款	06	農林水産業費
主要施策	5	生涯学習	中		01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	01	農業費
			小		18	環境改善センター管理運営事業		目	03	農村環境改善センター費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規		胎内市農地農村環境改善センター条例、胎内市役所諸証明交付所条例	関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民に諸証明交付等の行政サービスを提供するとともに、公民館事業の実施や交流活動を促進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の管理運営</li> <li>諸証明交付</li> <li>公民館事業の企画</li> <li>図書の貸出し</li> <li>地域住民の交流活動の場の提供</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	4,901	7,121	12,053	12,024	13,445	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	5,000	0	0	
その他	15	9	15	4,874	4,817	
一般財源	4,886	7,112	7,038	7,150	8,628	
人件費（千円）	3,295	3,322	3,399	3,392	3,392	
正(h) ※事業費	1,790	1,790	1,790	1,790	1,790	
※事業任用(h) ※事業費	1,822	1,822	1,822	2,316	3,144	
総事業費+人件費	8,196	10,443	15,452	15,416	16,837	
財源「その他」内訳	使用料1千円 築地環境改善センター整備事業4,400千円 雇用保険料個人負担金6千円 雇ノ俣発電所繰入金410千円					
事業費の主な支出内容	需用費1,275千円、役務費98千円、委託料1,049千円、使用料及び賃借料88千円、工事請負費7,700千円、備品購入費93千円					
単位コスト	算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		984円	1,300円	1,329円	2,094円	1,989円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	243日	243日	243日	243日	243日
	実績	271日	290日	272日	258日	252日
成果指標	名称	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数
	目標	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人
	実績	8,312人	8,024人	7,847人	5,034人	8,463人
	目標比	103.9%	100.3%	98.0%	62.9%	105.7%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	○	△	◎
評価の理由	令和3年度は、新型コロナウイルス対策を行い、令和2年度中止とした事業を再開することができた。また、築地小学校のなかよしクラブ（学童保育）を夏休み期間中環境改善センターで実施したことや、令和2年度に活動を自粛していた団体が利用を再開したこと、利用人数が増加した。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

地域住民が利用したいと思える施設を目指し、高齢者大学や、市民講座を行った。市民講座では、人気定着しているおりがみ講座をメインに実施した。

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	現状において協働実施を検討する案件がない。

7 事業の課題

築年数が34年経過し施設の老朽化が進んでおり、毎年修繕が必要な状況。平成30年度から令和3年度までに屋上防水工事、多目的ホール天井の耐震改修工事、非常灯取替工事などを行っている。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
施設利用者数が減少傾向にあり、現在行っている事業以外にも施設の魅力を生かした新たな企画を行い、施設利用の需要を増やす。市が指定する一次避難所として、施設の老朽箇所にも目を向け今後も修繕を行う。					

9 二次評価委員会所見

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性						

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150119		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	一般経費中央公民館			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中		01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
			小		19	一般経費中央公民館		目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	社会教育法				
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市公民館条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	学習と仲間作りの拠点施設として学習者、活動者にとって利用しやすい場を提供する。 また、主催事業の開催や、社会教育団体への支援を通じて、文化・芸術活動の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の管理運営</li> <li>公民館事業の企画</li> <li>社会教育団体に対する支援、育成</li> <li>各種団体事務局事務</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	8,512	8,234	8,394	9,571	9,231	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	337	409	403	364	495	
一般財源	8,175	7,825	7,991	9,207	8,736	
人件費（千円）	2,393	2,413	2,469	2,464	2,464	
正(h) ※事業費	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	
会計年度任用(h) ※事業費	○ 1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
総事業費+人件費	10,905	10,647	10,863	12,035	11,695	
財源「その他」内訳	中央公民館使用料 432千円 中央公民館敷地使用料 49千円					
事業費の主な支出内容	施設管理委託料 2,362千円 会計年度任用職員報酬 1,663千円 光熱水費 957千円 通信環境整備工事 702千円 清掃業務委託料 500千円 修繕費 416千円 会計年度任用職員期末手当 327千円 会計年度任用職員社会保険料 308千円					
単位コスト	算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		478円	465円	507円	885円	721円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	359日	359日	359日	359日	359日
	実績	359日	359日	330日	329日	345日
成果指標	名称	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数
	目標	23,000人	24,000人	24,000人	24,000人	24,000人
	実績	22,069人	21,974人	20,611人	13,187人	15,521人
	目標比	95.9%	91.5%	85.8%	54.9%	64.6%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	△	△
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	R3年度については、県の特別警報により2週間休館を余儀なくされたこと、利用団体の解散、団体内の会員数の減少、また利用回数の減少などにより利用者数は減少傾向にあり目標を達成できていない。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

利用の少ない中高年以下の世代を対象とした講座を開催し、公民館の新規利用者の増加に努めている。（親子そば打ち道場や子ども向けワークショップの開催）
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	中央公民館で活動している団体の受講者に講師となってもらう事業を実施している、自らの学習成果の還元の良い機会にもなっている。

7 事業の課題

新規利用者を増やすための事業の開催、活動団体内の会員減少に歯止めをかけるための支援が必要
--

8 課題解決に向けた今後の取組

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
今後の方向性	③	③	③	③	③
魅力ある講座を開設し、公民館になじみのない市民に利用してもらうことにより利用者の増加につなげる。 ・現在、老朽化した中央公民館と図書館の複合施設整備に向け基本構想を策定中であり、併せて、その整備手法については、PPP/PFI事業（官民連携事業）の活用も含め検討中である。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
	コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150120		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	一般経費黒川地区公民館		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供	項	06	社会教育費
				小	20	一般経費黒川地区公民館	目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	社会教育法				
	法令による義務付け		任意	関連例規	胎内市公民館条例、胎内市就業改善センター条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	生涯学習を通じて教養を深めるとともに市民に交流を促進する場を提供する。また、地区公民館の企画実施、施設の維持管理と環境整備、利用に関する受付、貸館業務、図書貸出業務、社会教育団体への支援を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒川展覧会の開催</li> <li>ふるさと芸能発表会</li> <li>ヤマボウシ大学の実施</li> <li>施設管理</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	11,245	11,471	8,596	12,774	11,472	
国・県支出金	0	0	0	3,053	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	141	193	150	149	168	
一般財源	11,104	11,278	8,446	9,572	11,304	
人件費（千円）	902	965	4,439	2,691	2,678	
正（h）※事業費	490	520	1,890	1,420	1,413	
※事業費任用（h）	5,072	4,282	1,000	1,700	2,274	
総事業費＋人件費	12,147	12,436	13,035	15,465	14,150	
財源「その他」内訳	使用料 113千円 敷地使用料 47千円 雇用保険料個人負担金 6千円 コピー代 2千円					
事業費の主な支出内容	施設整備工事 2,376千円 光熱水費 1,428千円 パート会計年度任用職員（一般職） 1,667千円 修繕費 847千円 施設管理委託料 878千円 施設用備品 450千円 樹木等維持管理委託料 484千円 図書 399千円 清掃業務委託料 365千円 空調設備保守点検委託料 253千円 施設管理保守点検委託料 289千円 消耗品費 194千円					
単位コスト	算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）＋人件費/利用者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		1,396.70円	1,262.95円	1,253.77円	1,980.78円	1,862.53円

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	359日	359日	359日	359日	359日
	実績	359日	359日	330日	323日	345日
成果指標	名称	利用者数	利用者数	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数
	目標	8,000人	9,000人	9,000人	9,000人	9,000人
	実績	8,596人	9,694人	10,277人	6,191人	7,507人
	目標比	107.5%	107.7%	114.2%	68.8%	83.4%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	△	○
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 新型コロナウイルス感染症の影響等で、利用団体のキャンセル・利用中止及び図書室利用者の減少、ふるさと芸能発表会の中止などあり、利用人数が減少した。前年より増加したが、目標を達成できなかった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

事業の充実を図るべく、財源を確保し、施設の修繕を継続して行っている。
[R1]
・社会教育係の一部職員を黒川地区公民館に移動し、受付等管理経費を削減（前年比約4,500千円減）。
・黒川展覧会、ふるさと芸能発表会については、新規参加者の獲得に向けて高齢者大学やにこ楽団内に呼びかけを行い、各1名ずつ増加した。

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	現状において協働実施を検討する案件がない。

7 事業の課題

施設の老朽化が著しく、建物の維持管理にかかる経費が多くなっている。順次修繕は行っているが、追い付いていない。また、高圧変電設備、非常用発電機等の早期改修が必要となるが、今後の施設利用と営繕のバランスを取りながらどうするか検討中である。また、他の公民館に比べイベント・講座の実施回数が若干少ない。
---

8 課題解決に向けた今後の取組

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
今後の方向性	⑤	⑤	③	③	③
・築45年が経過し、建物及び設備の老朽化が著しく、最低限の施設改修など検討する。					
・ニーズを把握しイベント・講座の開催回数を増やす。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性		拡充	×	④	②	①
		維持	×	⑤	③	×
成果の方向性	縮小	×	⑥	×	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150121		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	乙地区交流施設管理運営事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中		01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
			小		21	乙地区交流施設管理運営事業		目	13	乙地区交流施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市乙地区交流施設条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民に諸証明交付等の行政サービスを提供するとともに、公民館事業の実施や交流活動を促進する。
主な実施内容	施設の管理運営及び諸証明交付や公民館事業の企画実施、図書の貸出を行い、地域住民の交流活動の場を提供。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	4,649	4,648	5,223	5,813	5,724	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	125	67	61	30	73	
一般財源	4,524	4,581	5,162	5,783	5,651	
人件費（千円）	5,084	5,141	5,223	5,305	5,305	
正(h) ※事業費	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	
※事業費任用(h)	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	
総事業費+人件費	9,733	9,789	10,446	11,118	11,029	
財源「その他」内訳	使用料 72千円					
事業費の主な支出内容	管理補助員賃金 1,979千円 光熱水費 1,020千円 施設管理保守点検委託料 621千円 清掃業務委託料 281千円 施設管理委託料 147千円 通信運搬費 125千円 火災保険料 103千円					
単位コスト	算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		904.36円	1,030.1円	1,021.8円	1,666.6円	1,406円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	243日	243日	243日	243日	243日
	実績	273日	278日	270日	277日	283日
成果指標	名称	施設利用者数	施設利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数
	目標	7,000人	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人
	実績	10,769人	9,503人	10,063人	6,653人	7,792人
	目標比	153.8%	118.8%	125.8%	83.1%	97.4%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	△	○
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない コロナ禍の影響により利用人数の制限、活動自粛等があったが、ワクチン接種率が上がったこと等による規制の緩和により、目標値は概ね達成された。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

市民が利用しやすい施設としての運用を心掛け、夏休みに子ども向けイベントを開催するなど、利用者のニーズを取り入れた事業を実施している。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	地域の有志の方々で組織する「きのと活いきクラブ」による施設清掃、施設管理等の業務委託を実施している。

7 事業の課題

比較的新しい施設のためか、まだまだ市民の認知度が低いため、魅力的な市民講座を積極的に企画したり、情報発信を強化するなどの取り組みが必要である。
---

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
市民講座を企画するにあたり、アンケートの結果などを基にニーズに即した事業を計画し、飽きられないような事業実施を継続していく。また、好評の企画については、きのと交流館の恒例企画として固定客の獲得を図る。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	
--------	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	×	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150210		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	社会教育振興事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中		02	市民による自主的な活動の育成・支援		項	06	社会教育費
			小		10	社会教育振興事業		目	01	社会教育総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	社会教育法				
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連例規	胎内市社会教育委員条例ほか		関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	社会教育委員の委嘱により、市民のニーズに沿った社会教育関係事業の企画や有効性の検討、また、社会教育関係団体の支援により生涯学習の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育関係団体の育成、支援、補助金交付</li> <li>社会教育関係事業等の検討、助言、調査研究</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	1,013	726	1,455	625	785
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,013	726	1,455	625	785
人件費（千円）	129	128	133	161	142
正（h）※事業費	70	60	70	85	75
会計年度任用（h）※事業費	0	20	0	0	0
総事業費+人件費	1,142	854	1,588	786	927
財源「その他」内訳	報酬 142千円、報償費 30千円、旅費 8千円、消耗品費 446千円、負担金補助及び交付金 159千円				
事業費の主な支出内容	報酬 142千円、報償費 30千円、旅費 8千円、消耗品費 446千円、負担金補助及び交付金 159千円				
単位コスト	算出方法				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数
	目標	3回	3回	3回	3回
	実績	3回	3回	3回	3回
成果指標	名称	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数
	目標	44団体	44団体	44団体	44団体
	実績	42団体	41団体	43団体	41団体
	目標比	95.5%	93.2%	97.7%	93.2%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	○	○
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	成果指標については目標を概ね達成しているが、今後も目標値の達成に努める。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

市民の意見を事業に反映させるため、社会教育委員からの意見を取り入れ、また、事業の運営等にもかかわってもらいながら、社会教育団体同士の情報交換や交流を図る事業を行なっている。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	社会教育委員との協働により社会教育認定団体間の連携促進（情報共有、問題解決など）のためのイベントを実施。

7 事業の課題

社会教育認定団体数について、現状、目標はほぼ達成しているが、団体の構成メンバーの高齢化、固定化が進んでいるため、今後減少が予想される。
---

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
市民のニーズを把握するとともに、社会教育委員に事業の運営等にも参加してもらうことで事業に対する意見いただき、それらを合わせ事業計画に反映させる。また、講座・イベントなどの実施については、社会教育団体を巻き込み、連携・協働することで団体の成長を促すことも併せて行う。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	×	×	維持	拡大
コスト投入の方向性					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	×	×	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	150212		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	生涯学習フェスティバル事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中	02	市民による自主的な活動の育成・支援	項	06	社会教育費
				小	12	生涯学習フェスティバル事業	目	02	生涯学習推進費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			任意		関連例規	関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	11月を「生涯学習強調月間」として、市民の日々の生涯学習の成果を発表する場を提供するとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習の振興を図る。
主な実施内容	参加団体で実行委員会を組織し、期間中に行われる文化、芸術、産業、スポーツなど、市民参加の生涯学習イベントを産業文化会館を中心とした市内各施設で開催する。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	428	423	343	298	368
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	428	423	343	298	368
人件費（千円）	2,393	2,413	2,469	2,464	2,464
正（h）※事業費	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
※事業任用（h）※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	2,821	2,836	2,812	2,762	2,832
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	印刷製本費 104千円 職員手当等104千円 手数料76千円				
単位コスト	算出方法				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数
	目標	20日間	20日間	20日間	20日間	20日間
	実績	20日間	18日間	20日間	23日間	21日間
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数
	目標	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人
	実績	8,327人	8,394人	8,752人	2,257人	2,630人
	目標比	119.0%	119.9%	125.0%	32.2%	37.5%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	×	×
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 生涯学習の目ごころの成果を発表する場として大変良い機会となっているが、令和2年度に引き続き3年度もコロナ禍の影響により、市民音楽祭等、催し物の多くに人数制限を設けたため目標値には達成しなかった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

新規参加団体の増加へ向け、ポスター等を使つての募集活動を実施。また、参加団体が自主的に活動できるよう市は全面的にバックアップした。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	参加団体が自主的に活動できるよう、市が前面に出るのではなく、協力しながらバックアップに回り、全体を補佐した。

7 事業の課題

- ・フェスティバル開催期間は産業文化館の貸切使用の可能が原則だが、実際は市の事業を優先しなければならない。
- ・時期的にイベントが多いことで土日の日程の確保が難しい。そのため20日間という長期の開催期間となっている。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
日程調整の面や事務的負担などを考慮し、開催期間の短縮を参加団体と協議の上、検討したい。また、今後フェスティバルの実施にあたって、各参加団体に対し一層の協力を促し、市民と行政が一体となったフェスティバルが開催できるよう取り組む。					

9 二次評価委員会所見

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性						